

災害情報提供

太田川・小瀬川を含む全国の雨量や河川水位の情報を「川の防災情報」をインターネット上で公開しています。また、近年の水災害対策として、より早くより詳細に災害情報・避難情報を取得していただけるよう発信しています。

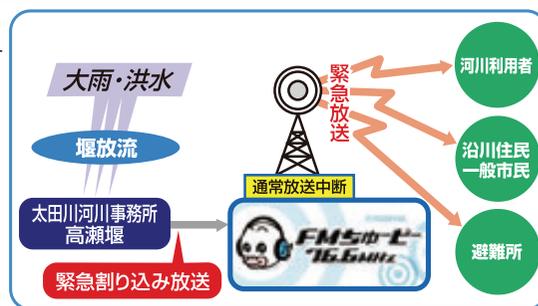
防災関連Web一覧

太田川河川事務所公式	twitter @mlit_oitagawa
川の防災情報 - 国土交通省	https://www.river.go.jp/
水害リスクライン - 国土交通省	https://frl.river.go.jp/
洪水キキクル - 気象庁	https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood
広島県防災Web - 広島県	http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/
山口県土木防災情報システム - 山口県	http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/kco_top.aspx

F Mラジオ(76.6MHz)による情報の提供

高瀬堰からゲート放流を行う時などは、より多くの人々に放流状況を知らせるため「コミュニティFM」や放流警報設備を利用した情報提供を行っています。

■コミュニティFM受信エリア
= 広島市中区、東区、西区、南区、安佐南区など



事前の緊急対応事例

平成16年8月の台風16号の際に事前に高潮潮位を予測し、堤防の低い箇所に緊急に積み土のうを設置するなどの対応を実施しました。これにより、約67haの浸水被害を未然に防止しました。



事前に潮位を予測し、土のうを設置



土のうを設置しなかった場合、上記着色範囲約67haが浸水していたと想定されます。

事後の緊急対応事例

平成30年7月豪雨により、太田川、根谷川及び三篠川で堤防欠損、護岸損壊等が発生しましたが、応急復旧は被災後約1週間で完了し、二次災害を防止しました。



平成30年7月6日11時頃 被災直後



平成30年7月15日11時頃 応急復旧状況

河川状況のリアルタイム把握、水位計、浸水想定区域図、ハザードマップ

住民避難に役立つ河川情報提供の一環として、地域の方の避難に活用いただくため、河川管理用に設置した「簡易型河川監視カメラ」、「危機管理型水位計」による「川の水位情報」や「洪水浸水想定区域図」、「ハザードマップ」をインターネット上で公開しています。

川の水位情報 - 国土交通省	https://k.river.go.jp/
太田川水系洪水浸水想定区域図 - 太田川河川事務所	https://www.cgr.mlit.go.jp/otagawa/bousai/flood2/flood2.html
小瀬川水系洪水浸水想定区域図 - 太田川河川事務所	https://www.cgr.mlit.go.jp/otagawa/bousai/flood3/flood3-Oz.html
浸水ナビ - 国土地理院	https://suiboumap.gsi.go.jp/
ハザードマップポータルサイト - 国土地理院	https://disaportal.gsi.go.jp/

災害情報の周知

放流警報用設備は、ダム・堰等の放流開始や河川水位の上昇を河川利用者等に周知するため、災害時には高瀬堰、祇園水門、大芝水門のスピーカーおよびサイレン、情報表示板にて災害情報を周知しています。また、放流警報用設備は広島市に開放し、市が発表する避難勧告等の災害情報を住民に届きやすくするために活用されています。



高瀬堰
中調子警報所および情報表示板
(広島市安佐南区東野地先)

河川堤防等への「対空標示」の実施

災害時に防災ヘリ等で上空から被災箇所を容易に把握するために、河川堤防等へ目印(河口からの距離)を標示しています。東日本大震災においてもその有効性が実証されており、迅速な災害対応につながることを期待されます。



対岸からの様子(太田川放水路)

※Lが左岸、Rが右岸、数字が河口からの距離



上空からの様子(太田川放水路)